

■高インスリン濃度測定法での酵素標識抗マウス/ラットインスリン抗体溶液の希釈倍率について

※本資料に掲載された方法は、以下の製品で使用してください。

超高感度マウスインスリン測定キット:ロット番号下3桁が「767」以前の製品

超高感度ラットインスリン測定キット :ロット番号下3桁が「828」以前の製品

高インスリン濃度測定法では、1～64ng/mLの範囲で検体を希釈せずに測定することができます。この場合は、キットの取扱説明書4ページの酵素標識抗マウス/ラットインスリン抗体溶液の調製法を次のように変更してください。

酵素標識抗マウス/ラットインスリン抗体溶液(使用直前に調製)

使用する直前に C 酵素標識抗マウス/ラットインスリン抗体原液と D 酵素標識抗体希釈液を 2:1 の割合で混和し、それをG 検体希釈液で 2倍 に希釈してください。

(例:96ウェル分 12mL)

C 酵素標識抗マウス/ラットインスリン抗体原液	4mL
D 酵素標識抗体希釈液	2mL
G 検体希釈液	6mL
酵素標識抗マウス/ラットインスリン抗体溶液	12mL